

平成27年度

袋井高校同窓会会報

第21号



創立五十周年へ向けて

校長 磯部 志げ子

今年度、創立四十周年という記念の年に、校長として着任しました磯部志げ子と申します。よろしくお願ひいたします。

日頃から同窓会の皆様には、本校の教育活動に対し、深い御理解と格別の御支援をいただき、誠にありがとうございます。

前号の同窓会報（一昨年七月）以降の学校の話題をいくつお知らせいたします。

①二十六年二月に生活館の「榎緑館」が完成しました。現在、生徒の学習室、合宿所、同窓会の資料室、PTAの会合等、多くの用途で活用させていただいております。

②二十五年年度の部活動は、陸上部が



会報発刊に寄せて

同窓会長 鈴木 康之

同窓生の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、同窓会活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

第二十一号の同窓会会報発刊にあたり、「ごあいさつ」させていただきます。本年3月に卒業しました第三十七期生を迎え、同窓会員は、一万二千五百七十五人となりました。各地域・各職業にわたり活躍されている様子をよく耳にいたします。

皆様ご承知のとおり、同窓会・学校後援会・PTAのご協力により、昨年二月に合宿のできる生活館、同窓会館である「榎緑館」(しんりょくかん)が竣工いたしました。

同窓会発足当初からの最大の目標でありましたので同窓会といたしても、もちろん後輩の在校生にとりまして、新たな袋井高校のシンボルとしてふさわしい会館の完成となりました。この会館は、同窓会事務局はもちろん、後輩生徒たちの補講の

部・剣道部が県大会に出場し活躍しました。野球部も二十六年年度の秋に県大会でベスト八となり、夏の勝利に向けて鍛えています。また、今年度は、袋井市制施行十周年記念式典やメロンサミットにおいて書道部が書道パフォーマンスを披露したり、エコパで行われた女子サッカーの開会式でダンス部がダンスを披露したりと、地域の中で特技を生かした貢献をすることも増えました。そして、生徒一人ひとりが伝統の「文武両道」を実現するようがんばっています。

③二十五年四月にオーストラリア・シドニー市郊外にあるトーマス・ハッサール・アングリカン・カレッジと姉妹校提携を結びました。そして、二十六年八月に本校生徒がオーストラリア姉妹校を訪問し、二十七年四月にはオーストラリアから生徒と校長先生が来校され、国際交流を深めることができました。アメリカ・オレゴン州からも生徒が来校

場として、部活動の合宿の場として末永く活躍してもらえらるものと思えます。是非、一度母校を訪問し、完成した「榎緑館」を見学してください。

昭和六十年に第一回目の発行をいたしました同窓会名簿が今回(株)サラトの編集のもと、第七回目の製作に入ります。近年同窓会名簿が心無いものにより悪用され、同窓生の皆様にご迷惑をおかけしたこともあり、役員の中で名簿の製作のための議論もいたしました。同窓会の役割である会員の親睦と母校の発展のため、発行することにしました。

確かな情報の提供のため、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。この同窓会会報の発送にあわせ、

し、グローバル人材育成のために、本校生徒と一緒に書道等日本文化を体験しました。以上、簡単ですが、近況報告をさせていただきます。もちろん、進学実績も毎年六十名前後が国公立大学に合格し、難関私立大学にも合格し、地域の進学校として信頼されており、これも卒業生の皆様が地域で活躍されていらっしゃるからです。これからも創立五十周年に向けて、皆様に続くような人材を輩出していきたいと思っておりますので、変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。



国際交流・H26年8月 シドニー姉妹校訪問

同窓会総会の案内を同封いたします。同窓会総会に出席したことのない方がほとんどだと思います。同窓会活動をほんの少しでも見たいだけでも構いません。是非、同級生を誘い、出席してみてください。

新しい何かが発見できるかも知れません。皆様のご参加をお待ちしています。本年は、創立四十年目の節目の年です。同窓生の皆さんには、母校で学ばれた時間、いろいろな出来事があるか？楽しかったこと・苦しかったこと等思い出せばきりがありません。わが母校がますます発展することを祈ります。

同窓会総会の案内を同封いたします。同窓会総会に出席したことのない方がほとんどだと思います。同窓会活動をほんの少しでも見たいだけでも構いません。是非、同級生を誘い、出席してみてください。

創立四十周年に寄せて

初代校長 河合 九平

「緑風薫る袋井の丘」の学び舎が、立派に四十年目の大事な節目を迎えられ、終始その発展を支えられた同窓会が記念会報を発行されること、創立の責任者として誠に感慨深く心からお礼とお祝いを申し上げます。

思えば、草創期は建学の精神「志を立つ強靱な人間の育成」の理念のもと、「自立・連帯・敬愛」を校訓に掲げ、生徒・教師・保護者がまさに「三位一体」となつての文字通り「手造りの学校創造」というべき貴重な体験となり終生忘れることができません。改めてお世話になつた皆さんに衷心より感謝と敬意を表します。

よく、学校の隆盛は生徒と教師との一体的真摯な努力がもちろん主軸をなしますが、同時にそこで学んだ卒業生（同窓会）とそれを取り囲む地域との連携・協力的体制が不可欠といわれ、とりわけ同窓会はその学校の命運を左右する「運命共同体」だとまで強調されていますが、袋井高校の歴史と現況を観るときしみじみそのモデル的ケースの感を深くします。



伺いますと、四十年を刻む平成二十七年三月現在一万二五七五人と優秀な多数の会員を擁する同窓会は、発足以来長年見事なりーダーシップで献身的に尽くしてこられた鈴木康之会長のもと、二年前（平成二五年）から年々文武両面で充実発展している母校の更なる振興の手助けになればと『生活会館』建設を計画し、同窓会設立三五周年に当たる平成二六年度竣工を目標に、「熱き母校愛」に燃える会員を先頭に学校地域との結束が功を奏して念願が叶つた。名称も校歌や環境にふさわしい『楨緑館』と愛称し、平成二六年八月十六日落成式が総会を兼ね多くの参加者で催され、偉業の達成を祝う旧交を温めあつた。ご丁寧なご招待を頂いて参加したあの感激は、まずこの同窓会こそ理想的な



モデルであるとの実感と長命の有難さ・教育師弟の冥利さとして胸が一杯になりました。

人間に喩えれば四十歳は「不惑」といいます。何事にも迷わず、どんな困難にもめげず、信念を持つて堂々といきる「不動」・「不変」の基盤とも考えられます。「連帯（社会性）」と「敬愛（人間性）」との練磨で真の「自立（個性）」を確かなものにしてから十年、いま母校は新校長のもと、人間形成の構想「校訓（自立・連帯・敬愛）」と学校経営の構造「生徒・教師・保護者」とのそれぞれ『三位一体』の深化を図り、いわゆる「トライアングル方式」磐石な「学校づくり・人づくり」に全力を挙げておられると拝察しております。

同窓会員の皆さん、どうか益々ご健勝で自らの人生と母校の充実発展のため一層のご活躍を祈念して挨拶に代えます。

平二十七・六・十五記

思い残りの記

児玉 惇

四十年前のことは、何もかも楽しく、なつかしく、美しい。

まだ目前のものが何もない中で、開校準備・入学試験・入学式が行われた。一学期の授業も、道ひとつ隔てた中学校の教室だった。

教員は、ただ広いだけの校庭の片隅に建てられたプレハブの職員室から、雨の日は傘を差して教室に向かった。放課後は、教員・生徒ともども、毎日グラウンド整備に追われた。

どこの学校でも行われるような、分担して事に当たり、いくつかの仕事が並行してこなされていく状況にはなかつた。みんなが同時に、一つの仕事に集中する、言わば単線運転であつた。それだけに、「新しい学校作り」の具体的な実感が、みんなにあつた。

いくつかの学校から集まつた教員は、当然、さまざまな経験と習慣、教育信条を持っていた。だから、河合九平校長の哲学を理解し、それを具体化するための職員会議は、しばしば合宿になった。その中から、数々のユニークな学校行事が生まれた。

次の年、二期生が入学して、生徒数が倍になった。すでに当面必要な校舎や芝にグラウンドも出来ていた。だから、身体で感ずる「学校作り」の実感は少なくなつてい

たのであろう。一期生と二期生の雰囲気には少々の差異があつた。三期生が入つて、学校は一つの形になった。しかし、一期生と二期生では、氣質や生活の仕方に違いがあるようだった。三期生には、今ある形をただ踏襲しようという傾向と同時に、現状に反発する気分も強まっているように感じた。

伝統とは、必ずしも形を踏襲することではない。松尾芭蕉が言うように、先人の心を心として受け継ぐことであらう。

筆者紹介

- 昭五一・二 設立準備委員
- 昭五一・四 一期生学年主任
- 昭五四・四 四期生学年主任
- 昭五七・三 知事部局へ転出



第1回 カルタ大会

第31回 袋井高校同窓会総会のご案内



記

- 1 日時 平成27年8月15日(土) 18時00分より
- 2 場所 小島屋松鶴
袋井市上山梨988-5
TEL (0538) 48-6031
- 3 会費 会員 4,000円 学生 2,000円

*「出席」の方は8月10日までに同封のはがき・メール・FAXでご返送ください

*当日、袋井駅より会場までバスが出ます。バスをご利用の方は、17時30分に出発しますので、袋井駅北口バス停付近でお待ちください。

同窓会総会に来ませんか？
懐かしい顔や声、会いに来ませんか？
お待ちしております。

袋井高校同窓会事務局 袋井市愛野2446-1
☎(0538) 42-0191 FAX(0538) 43-0710

時は流れて…そして今も

山崎朝子

月日は早いものであつという間に過ぎてしまう、年を重ねたせいでも知らないが一年も本当に早いものです。そんな中、今でも私は、健康維持にと運動する仕事に関わる事が出来ている。私は、日々感謝をしながら一日一日を楽しみながら生活しています。

袋井を中心に仕事を頂き袋井高校に西側の道路を通りますが、ふと東に目をやりますときれいな「高の字山」をながめる事が出来ます。遠い昔がよみがえつて来ます。

何もなかった土地に少しずつ校舎が出来上がり学校づくりが生徒の手でなされ、黙々と作業する生徒がいた。苦しいことの方が多かった様に思いますがその力は想像以上のものであつたように思います。

私も、過去は振り返らないようにしたいと日々思つて生活しているのですが、いつもあの当時の私の授業に歯をくいしばり頑張っていた生徒だけは、忘れる事が出来ません。そうです一光景、インターバルのスタートに並ぶ生徒の顔が浮かぶのです。ひとりの生徒から一粒の涙を見つけた時、勝負

をかける顔、必死に自分をこらす顔、泣き事を言わず立ち向かう人をつくりたいと全面に生徒を指導した私と問答無用の世界だったんだなあと思います。

私が、今、苦しい思いになる過去です。生徒の頑張りに深く感謝を感じます。ありがとう。今だから言える言葉です。あとひとつ気になる事があります。一期生十三HRの生徒とともに植樹した幼木はどうなっているかです。校舎の南側に植えました。今は、大地に根を張り大空に向かって枝を広げているでしょうか。今の袋井高校のようにです。

四十年前、二十五歳で袋井高校に赴任し、十一年の勤務をしました。あつという間の出来事のように思います。私としては悔いなきと言いたのですが、悔いがあります。そつと胸にしまっておきます。楽しいことばかりではない人生、思い出したくない事も多々ありますが、人間であるがゆえ、脳奥深くから時々顔を出すこともそれを上手にリセットしたつもり、とても複雑です。



13HRの生徒と植樹

私は、いつも自分らしく生きるという事に自問自答しています。そんな中、篠田桃紅さんの書に出会いその中にこんな文がありました。古来の甲骨文字を見ますと「人」という字は、一人で立っています。一人で立っている「人」は横向きになって何かを始めようとしているように見えます。二本の線が支え合わないと成り立たない「人」とは違い相手への過度な依存はしてはいけません。この古代のほうが本来の人の姿だと思えます。私は、この一文に深く感銘しました。私が、袋井高校女子に期待した姿が重なりました。またまらない文ですが、この歳になり美しく力強く年を重ねる自立した自分らしくを追求する私でありたいと思います。皆様へ永遠の幸せが続きますように。

感謝、感謝の高校時代



虎の門病院勤務 西岡 重吉郎
六期生(昭和五九年三月卒)

(まだ建物が残っていたらゴメンナサイ)に、当時一期下の袋井高校に通う弟(私が卒業時に転校させてしまいました)と二人で暮らすことになりました。

同窓会会報へ投稿をお願いされ、何を書けばと三一年前を振り返ったところ、私の高校時代は多くの方々に支えられて過ごした期間だったと思ひ出しました。

昭和五六年四月に入学した私は、当時TBSの金八先生のテーマでも取り上げられていたやんちゃな生徒がいた城〇中学から進学した血気盛んな生徒で、高校生活をエンジョイしようと考えていました。

ところが、高校二年八月のある夜、父母から話があると呼ばれ、商売がうまく行かず、急遽身の回りのものを纏めて家を出ると聞かされました(いわゆる夜逃げです)。何が何だか分からず、着の身着のままに家を出ることになり、父の知り合いの家に数日お世話になりました。その後袋井駅のホームから見える平屋のボロ家

導?)の鈴木源市先生のお宅にお世話になることになりました。先生が帰られる時間まで校内で待ち、一緒に車でご自宅に向かいます。緊張やら申し訳ない気持ちが入り混じり、とても複雑な数日間でした。テレビがあるお部屋を用意していただき、チャンネルはNHKになっていましたが、自分の好きなチャンネルに変えられなかったことを思い出します。また、ご自宅で作られていた芽キャベツを生まれて初めて食べることも出来ました(今でも東京ではあまり見かけません)。そんな数日が過ぎ自宅に戻る日が来ましたが、さて翌日からどうやって学校まで通おうかと考えていたところ、今度は当時所属していたバレー部の顧問、小林哲雄先生に朝夕の送迎をしていただくことになりました。こちらでも本当に申し訳ない気持ちで毎日過ごしました。期間ははつきり覚えていませんが、自転車が増えるようになるまでの間、本当にお世話になりました。また、まわりの友人たちにも助けられました。離れて暮らす両親から送られてくる僅かなお金で自炊をしていたため、食料を安く購入しようと考え、スーパーで

そんな矢先、一年生の弟がスキー教室に出発したその日、事件は起きました。寝不足で体育の授業に望んだ私は、不注意から右足首の靭帯を断裂する怪我をしてしまいました(バキッと音がしました)。すぐさま病院に運んでいただき、幸い骨には異常はありませんでしたが、足首を固定され靭帯が元に戻るまで不自由な時間を過ごさなければなりませんでした。おまけに弟はいないし…。先生方で検討していただいた結果、弟が戻るまでの間、学年主任(生活指

導?)の鈴木源市先生のお宅にお世話になることになりました。先生が帰られる時間まで校内で待ち、一緒に車でご自宅に向かいます。緊張やら申し訳ない気持ちが入り混じり、とても複雑な数日間でした。テレビがあるお部屋を用意していただき、チャンネルはNHKになっていましたが、自分の好きなチャンネルに変えられなかったことを思い出します。また、ご自宅で作られていた芽キャベツを生まれて初めて食べることも出来ました(今でも東京ではあまり見かけません)。そんな数日が過ぎ自宅に戻る日が来ましたが、さて翌日からどうやって学校まで通おうかと考えていたところ、今度は当時所属していたバレー部の顧問、小林哲雄先生に朝夕の送迎をしていただくことになりました。こちらでも本当に申し訳ない気持ちで毎日過ごしました。期間ははつきり覚えていませんが、自転車が増えるようになるまでの間、本当にお世話になりました。また、まわりの友人たちにも助けられました。離れて暮らす両親から送られてくる僅かなお金で自炊をしていたため、食料を安く購入しようと考え、スーパーで

創立30年(平成17年)〜創立40年(平成27年)をふりかえる

平17 11・25 創立30周年式典挙行政



平22 7・15 弓道場竣工

平23 3・15 卓球場竣工



7・13 ROIツピ通信第一号発行

平24 7・26 太陽光発電施設竣工



平26 2・21 生活会館(楨緑館)竣工

8・16 楨緑館落成記念・同窓会総会開催





現在の虎の門病院

バック限りの日には、学校帰りに一緒にレジに並んで購入したこともありました。このように温かい愛情に溢れる先生方、友人たちに出会ったことも袋井高校での貴重な思い出であり、感謝、感謝の三年間でした。

話は変わりますが、現在は東京都港区にある虎の門病院に勤めています。今年(平成27年)で勤続二六年目になりました。そうそう良く聞かれますが、医師でなく事務職(管理職)です(笑)。

この病院は昭和三三年に開院した歴史ある病院で、多くの優れた医師、看護師、コ・メディカルや事務スタッフが働いており、東京以

外の全国からも多くの患者さんが来院されています。霞ヶ関に近いこともあり、政界(大平総理が死去された病院)はもとより、財界、芸能界からの患者さんも来られます。今は平成三〇年度に建替・移転予定の新病院(地下3階地上19階830床)の準備に明け暮れています。東京オリンピック開催中は選手や関係者を医療の面で支える『オリンピック病院』となつていくこともあり、国際的な体制作りも行っています。下世話な話ですが、総工費は東京スカイツリーとほぼ同額と、決して失敗が許されない状況で日々仕事しています。

最後になりますが、病院に勤めてから病気についていろいろと考えるようになりました。若いころは病気になることなど無縁だと考えていたし、病気や怪我をした時は、病院に行けば必ず治るものだと思っていました。勿論、完治するものもありますが、治療内容が必ずしも期待した結果にならないことも多々あります。早期発見、早期治療が、基本です。四〇歳を過ぎたら人間ドックや市区町村の健康診断などを積極的に受けることをおすすめします。同窓会会員の先生方、元生徒のみならず、健康で長生きしましょう。

袋井高校同窓会

ホームページ(PC)

<http://www.roiko-ob.net>

「袋井高校同窓会」

で検索



携帯サイト

ブログ

<http://roikoob.hamazo.tv>

Facebook

いいね! 1,844名 (2015/7/1 現在)

<https://www.facebook.com/roikoob>

ツイッター

フォロワー数 1,707名 (2015/7/1 現在)

<https://twitter.com/roikoob>



榎緑館 完成のお知らせ



ついに、念願の生活会館「榎緑館」が平成26年2月に完成しました。

同窓生の皆様には、多額の募金をいただき、まことにありがとうございました。

募金金額は、目標金額には達しませんでしたので、借入金をしました。

「榎緑館」は、会議・部活動・補習等に活用させていただきますので、ご使用の場合は、袋井高校事務局((0538)42-0191)までご連絡ください。

生活会館「榎緑館」事業費

収入

同窓会・後援会より	115,853,305円
募金収入	8,091,000円
雑収入	3,317円
合計	123,947,622円

支出

設計委託費	7,140,000円
建設工事費	111,825,000円
募金活動費	1,541,739円
諸費	3,440,883円
合計	123,947,622円

床延べ面積 598.96㎡(地上3階建)



平成27年度 緑風祭



事務局だより

- 袋井高校は、本年創立四十年目を迎えました。行事等はありませんが、会報だけでも記念号になればと思います、初代校長河合九平先生・児玉 惇先生・山崎朝子先生に原稿をお願いしましたところ、快く引き受けてくださり感謝いたします。何分にも不慣れなため、読みにくい点等あったことをお詫言いたします。
- 平成二十八年七月に同窓会名簿を発刊します。平成二十七年七月より調査カードが会員の皆様へ郵送されます。確認のうえ、ご返送ください。
- 不明者が多くなっていますので、住所等変更された方は、袋井高校同窓会事務局まで、FAX/メールはがきにて連絡してください。(変更届はHPにあります)
- 振り込め詐欺が多発しています。十分に気をつけてください。不審に思ったら最寄の警察署に連絡してください。
- 「楨緑館」建設の際、会員の皆様には、募金をしていただきまことにありがとうございました。
- 「楨緑館」が完成し、会議・部活動・補講等に活用しています。会員の皆様も使用できますので、使用する場合は、事務局までご連絡ください。

編集後記

毎回、間際まで会報が出来なくて、総会の連絡が遅くなり、大変申し訳ありません。一生懸命取り組ませていただきました。何かありましたら、事務局までご連絡ください。

本年は、袋井高校創立四十年目の年です。当時を思い出してみたいかですか？いろいろな発見があるかも……。たまには、総会にも顔を出してみてください。懐かしい顔に会えるかな。



袋井高校キャラクター「ロイビー」



静岡県立袋井高等学校同窓会事務局

〒437-0031 袋井市愛野2446-1
 TEL (0538) 42-0191 FAX (0538) 43-0710
<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/fukuroi-h/home.nsf>
 E-mail : fukuroi@coffee.ocn.ne.jp